国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

今回は「科博」だけじゃない！
あの館も！この館も！

高校生のための おしゃべりミュージアム

博物館・美術館で仕事をするってどういうこと？　どんな人が働いているの？

2026 年 8 月 18 日（火）

高校生のための特別な座談会！
博物館や美術館で働くゲストスピーカーたちとおしゃべりしてみませんか？
今後の進路を考えるためのヒントが見つかるかも！？

対　　象：高校生（中学生も申込可能です）
時　　間：① 午前の部　10:00～12:00　　② 午後の部　14:00～16:00
定　　員：各回 30 名
会　　場：国立科学博物館　上野本館
　　日本館 2 階　講堂
参 加 費：**無料**（高校生以下は常設展示入館料無料）
申　　込：**事前申込制**（定員を超えた場合は抽選となります。その場合、高校生が優先となります）
申込締切：2026年7月24日（金）17:00 まで

参加者の声

ぼんやりとしか知らなかった「学芸員」や「研究員」として働くことを深く知ることができた！

裏話やここにたどり着くまでの過程など普段は聞けない話が聞けて面白かった。

博物館という一括りにいろんな仕事があるのがわかった。

※写真は前回の様子です。

お申込み・お問い合わせ

本プログラムは事前申込制です。
右のQRコードから
お申込みをお願いします。
申込締切は
7月24日（金）17:00までです。

申込みフォーム

問い合わせ先

国立科学博物館 学習課
museumforteachers@kahaku.go.jp

ゲストスピーカー

20分間で1人のゲストスピーカーとお話しする時間が各部で3回あります。
午前と午後でゲストスピーカーは異なる場合もありますが、どちらでも3人のゲストスピーカーとお話しすることができますよ！

① 午前の部

国立科学博物館
植物研究部
多様性解析・保全グループ兼筑波実験植物園

みずの　たかゆき
水野 貴行

科博で行われた特別展「花」（2007年）の世界観に感動し、科博に連携大学院生として進学し、青い花の研究で博士号を取得。その後、青いバラの研究開発や切り花の鮮度保持研究に携わった後、現職。専門は園芸学、生物有機化学。現在は花の色の多様性がどのように生じたかを明らかにするため、オーストラリアやネパールなど、海外でも調査を行っている。

国立西洋美術館
学芸課 教育普及室

あきた　みお
秋田 美緒

大学在学時には美術活動に関する環境づくりについてひろく学ぶが、教育委員会がもつ美術施設に職を得て出合ったアートプロジェクトを契機に学校との連携・協働がよりおもしろくなり、美術教育の視点で企画を提案しはじめる。5年目の現職では小中学生対象セルフガイドの編集執筆、先生を含めた学校対象プログラムを中心に担当。社会人になってから博士号を取得。

東京国立博物館
日本絵画担当

かない　ひろこ
金井 裕子

絵を描くこと、観ることが好きで大学と大学院で美術史を専攻。日本絵画と政治のかかわりに興味をもち、研究を続けたい気持ちと、学んだことを社会還元したい気持ちを両立させるべく、博物館学芸員の世界へ。2011年より東京国立博物館勤務。さまざまな部署を経て、現在は教育部門で講座やワークシート等を企画中。担当展は特別展「桃山」（2020年）や「大覚寺」（2025年）など。

② 午後の部

国立科学博物館
植物研究部
多様性解析・保全グループ兼筑波実験植物園

みずの　たかゆき
水野 貴行

国立西洋美術館
学芸課 教育普及室

いいだ　ゆき
飯田 有季

大学ではロシア美術を専攻。大学院在学中に美術館でインターンシップやボランティアに参加し、鑑賞プログラムやワークショップに携わる。その経験を通してやりがいを感じ、より深く美術館教育に関わりたいと思い、現職に至る。親子向けワークショップ、建築ツアー、ボランティア事業を中心に担当し、子どもから大人まで多様な来館者と関わっている。

東京国立博物館
日本・東洋彫刻担当

にしき　まさのり
西木 政統

専門は日本彫刻史、とくに仏像や仏教美術の歴史。小学生のころから仏像が好きで、一時は仏師を志すも高校から研究者を目指す。大学、大学院では美術史学を専攻し、天台宗における薬師如来像の研究で博士号を取得。2014年にアソシエイトフェロー、2017年に彫刻担当研究員として東京国立博物館に着任。日本・東洋彫刻の展示を担当するなかで、現在は収蔵品のうちチベット仏教美術やキリシタン関係遺品の調査研究も手がける。